

1/5/1 (Item 1 from file: 351)  
DIALOG(R)File 351:Derwent WPI  
(c) 2004 Thomson Derwent. All rts. reserv.

014443418 \*\*Image available\*\*  
WPI Acc No: 2002-264121/ 200231  
XRPX Acc No: N02-205331

Cyber ticket reservation system for various events, has event server for displaying stored telephone number and accessing portable telephone, when reservation person enters event hall

Patent Assignee: MITSUBISHI ELECTRIC CORP (MITQ )

Number of Countries: 001 Number of Patents: 001

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Week
JP 2002063305	A	20020228	JP 2000248480	A	20000818	200231 B

Priority Applications (No Type Date): JP 2000248480 A 20000818

Patent Details:

Patent No	Kind	Lan Pg	Main IPC	Filing Notes
JP 2002063305	A	16	G06F-017/60	

Abstract (Basic): JP 2002063305 A

NOVELTY - Event server (2) stores the telephone number of the mobile telephone (1) used for reserving the cyber ticket of an event. Event server displays the stored telephone number and accesses the mobile telephone, when the reservation person enters the event hall (5).

USE - Cyber ticket reservation system for various events such as sports such as baseball and soccer, concert, movie, exhibition and lecture meeting.

ADVANTAGE - Eliminates the trouble in sending the ticket to the user and eliminates the problem generated when the ticket is lost. Enables selling the cyber ticket left by the person in the middle of the event at a cheap price and simplifies the distribution of cyber tickets.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the components of the cyber ticket reservation system. (Drawing includes non-English language text).

Mobile telephone (1)

Event server (2)

Event hall (5)

pp; 16 DwgNo 1/10

Title Terms: TICKET; RESERVE; SYSTEM; VARIOUS; EVENT; EVENT; SERVE; DISPLAY ; STORAGE; TELEPHONE; NUMBER; ACCESS; PORTABLE; TELEPHONE; RESERVE; PERSON; ENTER; EVENT; HALL

Derwent Class: T01; W01

International Patent Class (Main): G06F-017/60

International Patent Class (Additional): H04M-003/42; H04M-011/00

File Segment: EPI

1/5/2 (Item 1 from file: 347)  
DIALOG(R)File 347:JAPIO  
(c) 2004 JPO & JAPIO. All rts. reserv.

07194900 \*\*Image available\*\*  
CYBER TICKET SYSTEM

PUB. NO.: 2002-063305 A]

PUBLISHED: February 28, 2002 (20020228)

INVENTOR(s): YOSHIKAWA HIROSHI  
TOMITA SATORU

APPLICANT(s): MITSUBISHI ELECTRIC CORP

APPL. NO.: 2000-248480 [JP 2000248480]

FILED: August 18, 2000 (20000818)

INTL CLASS: G06F-017/60; H04M-003/42; H04M-011/00

# ABSTRACT

PROBLEM TO BE SOLVED: To solve the problem of the trouble that a user needs to visit a payment place such as a post office to pay for a ticket and the ticket vendor needs to send the ticket to the user.

SOLUTION: This system is equipped with an event server 2 which stores event information and manages the reservation and sale of cyber tickets of an event and a portable telephone 1 which is used to reserve a cyber ticket of a specific event and presented when the user enters the event hall, and the event server stores the telephone number of the portable telephone used to reserve the ticket as the event information together with the specific reserved event when the reservation is made and the portable telephone is accessed by the event server when the user enters the event hall to display the telephone number used for the reservation together with the specific event. Consequently, the ticket vendor need not mail the ticket to the user.

COPYRIGHT: (C) 2002, JPO

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-63305

(P2002-63305A)

(43) 公開日 平成14年2月28日 (2002.2.28)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テマコード <sup>*</sup> (参考)
G 0 6 F 17/60	1 4 6	G 0 6 F 17/60	1 4 6 A 5 B 0 4 9
	2 2 2		2 2 2 5 B 0 5 5
	3 3 2		3 3 2 5 K 0 2 4
H 0 4 M 3/42		H 0 4 M 3/42	T 5 K 1 0 1
11/00	3 0 2	11/00	3 0 2
審査請求 未請求 請求項の数15 O L (全 16 頁)			

(21) 出願番号 特願2000-248480 (P2000-248480)

(22) 出願日 平成12年8月18日 (2000.8.18)

(71) 出願人 000006013

三菱電機株式会社

東京都千代田区丸の内二丁目2番3号

(72) 発明者 吉川 寛

東京都千代田区丸の内二丁目2番3号 三

菱電機株式会社内

(72) 発明者 富田 悟

東京都千代田区丸の内二丁目2番3号 三

菱電機株式会社内

(74) 代理人 100057874

弁理士 曾我 道照 (外6名)

最終頁に続く

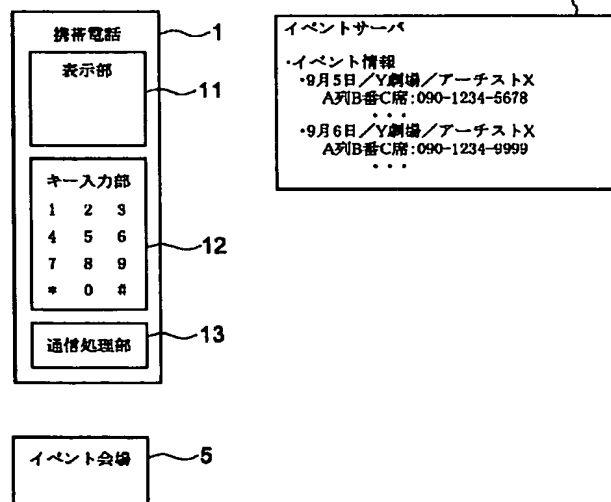
## (54) 【発明の名称】 サイバーチケットシステム

## (57) 【要約】

【課題】 従来、ユーザはチケット代金を払い込むために、郵便局などの代金払込所に赴く必要があり、またチケット販売業者も、チケットをユーザに送付しなければならない煩わしさがあるという課題があった。

【解決手段】 イベント情報を格納し、イベントのサイバーチケットの予約、販売を管理するイベントサーバ2と、所定のイベントのサイバーチケットを予約するため、かつイベント会場に入場する際に提示するための携帯電話1とを備え、前記イベントサーバは、予約時に、そのときに使用した携帯電話の電話番号を、前記予約した所定のイベントとともに前記イベント情報として格納し、前記携帯電話は、持主の前記イベント会場の入場時に、前記イベントサーバにアクセスされて、前記予約した所定のイベントとともに予約時に使用した電話番号を表示する。

【効果】 チケット販売業者がユーザにチケットを郵送する必要がなくなる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 イベント情報を格納し、イベントのサイバークケットの予約、販売を管理するイベントサーバと、

所定のイベントのサイバークケットを予約するため、かつイベント会場に入場する際に提示するための携帯情報端末とを備え、

前記イベントサーバは、予約時に、そのときに使用した携帯情報端末の電話番号を、前記予約した所定のイベントとともに前記イベント情報として格納し、

前記携帯情報端末は、持主の前記イベント会場の入場時に、前記イベントサーバにアクセスされて、前記予約した所定のイベントとともに予約時に使用した電話番号を表示することを特徴とするサイバークケットシステム。

【請求項2】 イベント情報を格納し、イベントのサイバークケットの予約、販売を管理するイベントサーバと、

所定のイベントのサイバークケットを予約するため、かつイベント会場に入場する際に提示するための携帯情報端末と、

前記イベント会場に設置され、前記イベントサーバをアクセスするためのパソコンと、

前記イベント会場に設置され、前記携帯情報端末を特定するための電話とを備え、

前記イベントサーバは、予約時に、予約番号を発行して前記携帯情報端末へ通知し、前記予約番号を、そのときに使用した携帯情報端末の電話番号、及び前記予約した所定のイベントとともに前記イベント情報として格納し、

前記パソコンは、前記携帯情報端末の持主の前記イベント会場の入場時に、提示された前記予約番号に基いて前記携帯情報端末の電話番号を検索し、

前記携帯情報端末は、持主の前記イベント会場の入場時に、前記電話により前記検索された電話番号が掛けられて着信音を鳴らすことを特徴とするサイバークケットシステム。

【請求項3】 前記イベントサーバは、前記予約番号を、予約時に使用した携帯情報端末の電話番号、及び前記携帯情報端末の持主が指定した暗証番号に基いて計算し、

前記パソコンは、前記予約番号の代わりに前記暗証番号に基いて前記携帯情報端末の電話番号を検索することを特徴とする請求項2記載のサイバークケットシステム。

【請求項4】 前記携帯情報端末に付属した個人識別端末をさらに備え、

前記イベントサーバは、予め前記個人識別端末から入力した前記携帯情報端末の持主の第1の指紋情報を、そのときに使用した携帯情報端末の電話番号とともに記憶し、予約時に前記個人識別端末から入力した前記携帯情報端末の持主の第2の指紋情報を前記第1の指紋情報と

照合し、持主の前記イベント会場の入場時に前記個人識別端末から入力した前記携帯情報端末の持主の第3の指紋情報を前記第1の指紋情報と照合することを特徴とする請求項3記載のサイバークケットシステム。

【請求項5】 前記パソコンは、少なくとも前記携帯情報端末の電話番号、及び前記電話番号に対応した入／退場フラグから構成されている入退場テーブルを有し、前記携帯情報端末の持主の前記イベント会場への入場、及び前記イベント会場からの退場を、前記携帯情報端末の電話番号に基いて前記入退場テーブルを用いて管理することを特徴とする請求項2記載のサイバークケットシステム。

【請求項6】 前記パソコンは、前記入退場テーブルの入／退場フラグ欄を参照して、「入」フラグの携帯情報端末の電話番号について、電話会社に対してイベント開催中だけ転送電話サービスの設定を行うように要求を送信することを特徴とする請求項5記載のサイバークケットシステム。

【請求項7】 前記パソコンは、前記入退場テーブルの入／退場フラグ欄を参照して、未入場を表すフラグの携帯情報端末の電話番号について、電話を掛けてイベント開催を知らせる音声案内を送信することを特徴とする請求項5記載のサイバークケットシステム。

【請求項8】 前記パソコンは、前記入退場テーブルの入／退場フラグ欄を参照して、未入場を表すフラグの携帯情報端末の電話番号について、電話を掛けてキャンセル要求があるかどうかを確認し、キャンセルを確認した場合には、前記入退場テーブルの該当電話番号に対応する入／退場フラグ欄にキャンセルを表すフラグをセットし、前記イベントサーバへ該当電話番号に対応するイベントのサイバークケットをキャンセルするためのキャンセル登録の要求を出し、

前記イベントサーバは、少なくとも前記携帯情報端末の電話番号、及び前記電話番号に対応したフラグから構成されている所定のイベントについてのイベント情報テーブルを有し、前記キャンセル要求に基いて前記イベント情報テーブルのフラグ欄にキャンセルを表すフラグをセットし、これに基いてキャンセルされたサイバークケットを予約販売処理と同様に再販売処理を行うことを特徴とする請求項5記載のサイバークケットシステム。

【請求項9】 前記入退場テーブルに、入／退場時刻欄をさらに設け、

前記パソコンは、前記入退場テーブルの入／退場時刻欄を参照して途中退場者を特定し、前記入退場テーブルの該当入／退場フラグ欄に途中退場を表すフラグをセットし、前記イベントサーバへ該当電話番号に対応するイベントのサイバークケットの持主が途中退場した旨を通知し、

前記イベントサーバは、少なくとも前記携帯情報端末の電話番号、及び前記電話番号に対応したフラグから構成

されている所定のイベントについてのイベント情報テーブルを有し、前記通知に基いて前記イベント情報テーブルのフラグ欄に途中退場を表すフラグをセットし、これに基いて途中退場したサイバーチケットを予約販売処理と同様に再販売処理を行うことを特徴とする請求項5記載のサイバーチケットシステム。

【請求項10】 前記イベントサーバは、所定のイベント情報毎に少なくとも待ち順番、及び前記携帯情報端末の電話番号から構成されているキャンセル待ちリストを有し、

キャンセル待ち登録時に、そのときに使用した携帯情報端末の電話番号を、前記キャンセル待ちリストの待ち順番順に登録し、

前記イベント情報テーブルのキャンセル情報に基いて、キャンセルされたサイバーチケットを、前記キャンセル待ちリストの待ち順番の登録順に、予約販売処理と同様に再販売処理を行うことを特徴とする請求項8記載のサイバーチケットシステム。

【請求項11】 前記イベントサーバは、前記携帯情報端末からのグレード変更要求に基き、前記イベント情報についてグレードの異なるサイバーチケットの有無を調べ、グレードの異なるサイバーチケットが有る場合には、そのときに使用した携帯情報端末の電話番号を、前記グレードの異なるイベントとともに前記イベント情報として格納することによりグレードを変更することの特徴とする請求項1又は2記載のサイバーチケットシステム。

【請求項12】 前記イベントサーバは、1台の携帯情報端末を使用して複数のサイバーチケットを予約した場合において、前記携帯情報端末からの電話番号変更要求に基き、前記イベント情報の予約に使用した携帯情報端末の電話番号から他の携帯情報端末の任意の電話番号に変更することを特徴とする請求項1又は2記載のサイバーチケットシステム。

【請求項13】 前記イベントサーバは、1台の携帯情報端末を使用して1つのサイバーチケットを予約した場合において、前記携帯情報端末からの電話番号変更要求に基き、前記イベント情報の予約に使用した携帯情報端末の電話番号から他の携帯情報端末の任意の電話番号に変更することを特徴とする請求項1又は2記載のサイバーチケットシステム。

【請求項14】 前記イベントサーバは、チケット代金を、前記携帯情報端末の料金とは別口座とし、電話料金と同様に引き落とすことを特徴とする請求項1又は2記載のサイバーチケットシステム。

【請求項15】 前記イベントサーバは、チケット代金を、携帯情報端末会社、イベント開催業者、チケット販売業者に、予め決めた割合で分配することの特徴とする請求項1又は2記載のサイバーチケットシステム。

【発明の詳細な説明】

#### 【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、携帯電話等の携帯情報端末を用いてイベント等のサイバーチケットを予約及び販売するシステムで、そのチケット代金を徴収するサイバーチケットシステムに関するものである。また、イベント会場への入／退場も管理するサイバーチケットシステムに関するものである。なお、イベントには、プロ野球、サッカー等の各種のスポーツの試合、コンサート、映画、展覧会、講演会、ファッションショー等の各種の催し物全てを含む。また、サイバーチケットとは、従来の紙などからできているチケットに代わるもので、あえて定義すればイベントに参加できる権利を表すものである。

#### 【0002】

【従来の技術】従来のチケット予約販売システムについて図面を参照しながら説明する。図9は、NTT Docomoがサービスを行っているiモードを利用した従来の携帯電話を用いたチケット予約販売システムの構成を示す図である。

【0003】図9において、1は携帯電話、2はイベント情報などを記憶している磁気ディスク装置等の記憶装置を有するイベントサーバ、3はチケット代金を払い込む郵便局などの代金払込所、4はチケット、5はイベント会場である。

【0004】つぎに、従来のチケット予約販売システムの動作について図面を参照しながら説明する。図10は、従来のチケット予約販売システムの動作を示す図である。

【0005】チケットを購入する予定のユーザは、イベントサーバ2に携帯電話1よりアクセスすべく、携帯電話1のキー入力部12を使い、イベントサーバ2の電話番号を押下し電話をかける。

【0006】イベントサーバ2と携帯電話1との間では、WWW技術を利用した例えばiモードサービスにより、携帯電話1の表示部11に、図10に示す初期メニュー画面101が表示される。

【0007】この初期メニュー画面101は、携帯電話1の通信処理部13が、イベントサーバ2との間で、データ授受を行い表示されるものである。該初期メニュー画面101より例えば、ユーザがテンキー部12より「1」と「#」を順番に押下することで、通信処理部13は「本日発売」分を選択および実行し、次のイベント選択画面102を表示させる。

【0008】以下、ユーザは、同様の操作を行い、図10の画面103、104、105を経て、予約OK画面106に示すように、予約番号「1234」を入手し、ユーザがキー入力部12より「9」と「#」を順番に押下することで、通信処理部13は予約を完了する。

【0009】次に、イベントに参加する予定のユーザは、代金払込所3に赴き、チケット代金を振り込む。そ

の際、予約番号「1234」などイベント情報も振り込み用紙に記入しておく。

【0010】チケット販売業者は、代金振り込みを確認した後、席を割り当て、チケット4をユーザに郵送する。

【0011】ユーザは、チケット4を受け取った後、該チケット4をイベント会場5に持参し、イベントに参加する。

【0012】

【発明が解決しようとする課題】上述したような従来のチケット予約販売システムでは、ユーザはチケット代金を払い込むために、郵便局などの代金払込所に赴く必要があり、またチケット販売業者も、チケットをユーザに送付しなければならない煩わしさがあるという問題点があった。

【0013】この発明は、前述した問題点を解決するためになされたもので、ユーザは、チケット代金の入金のために郵便局などの代金払込所に赴く必要がなく、またチケット販売業者も、チケットを送付する必要がないサイバーチケットシステムを得ることを目的とする。

【0014】

【課題を解決するための手段】この発明の請求項1に係るサイバーチケットシステムは、イベント情報を格納し、イベントのサイバーチケットの予約、販売を管理するイベントサーバと、所定のイベントのサイバーチケットを予約するため、かつイベント会場に入場する際に提示するための携帯情報端末とを備え、前記イベントサーバは、予約時に、そのときに使用した携帯情報端末の電話番号を、前記予約した所定のイベントとともに前記イベント情報として格納し、前記携帯情報端末は、持主の前記イベント会場の入場時に、前記イベントサーバにアクセスされて、前記予約した所定のイベントとともに予約時に使用した電話番号を表示するものである。

【0015】この発明の請求項2に係るサイバーチケットシステムは、イベント情報を格納し、イベントのサイバーチケットの予約、販売を管理するイベントサーバと、所定のイベントのサイバーチケットを予約するため、かつイベント会場に入場する際に提示するための携帯情報端末と、前記イベント会場に設置され、前記イベントサーバにアクセスするためのパソコンと、前記イベント会場に設置され、前記携帯情報端末を特定するための電話とを備え、前記イベントサーバは、予約時に、予約番号を発行して前記携帯情報端末へ通知し、前記予約番号を、そのときに使用した携帯情報端末の電話番号、及び前記予約した所定のイベントとともに前記イベント情報として格納し、前記パソコンは、前記携帯情報端末の持主の前記イベント会場の入場時に、提示された前記予約番号に基づいて前記携帯情報端末の電話番号を検索し、前記携帯情報端末は、持主の前記イベント会場の入場時に、前記電話により前記検索された電話番号が掛け

られて着信音を鳴らすものである。

【0016】この発明の請求項3に係るサイバーチケットシステムは、前記イベントサーバが、前記予約番号を、予約時に使用した携帯情報端末の電話番号、及び前記携帯情報端末の持主が指定した暗証番号に基づいて計算し、前記パソコンは、前記予約番号の代わりに前記暗証番号に基づいて前記携帯情報端末の電話番号を検索するものである。

【0017】この発明の請求項4に係るサイバーチケットシステムは、前記携帯情報端末に付属した個人識別端末をさらに備え、前記イベントサーバは、予め前記個人識別端末から入力した前記携帯情報端末の持主の第1の指紋情報を、そのときに使用した携帯情報端末の電話番号とともに記憶し、予約時に前記個人識別端末から入力した前記携帯情報端末の持主の第2の指紋情報を前記第1の指紋情報と照合し、持主の前記イベント会場の入場時に前記個人識別端末から入力した前記携帯情報端末の持主の第3の指紋情報を前記第1の指紋情報と照合するものである。

【0018】この発明の請求項5に係るサイバーチケットシステムは、前記パソコンが、少なくとも前記携帯情報端末の電話番号、及び前記電話番号に対応した入／退場フラグから構成されている入退場テーブルを有し、前記携帯情報端末の持主の前記イベント会場への入場、及び前記イベント会場からの退場を、前記携帯情報端末の電話番号に基づいて前記入退場テーブルを用いて管理するものである。

【0019】この発明の請求項6に係るサイバーチケットシステムは、前記パソコンが、前記入退場テーブルの入／退場フラグ欄を参照して、「入」フラグの携帯情報端末の電話番号について、電話会社に対してイベント開催中だけ転送電話サービスの設定を行うように要求を送信するものである。

【0020】この発明の請求項7に係るサイバーチケットシステムは、前記パソコンが、前記入退場テーブルの入／退場フラグ欄を参照して、未入場を表すフラグの携帯情報端末の電話番号について、電話を掛けてイベント開催を知らせる音声案内を送信するものである。

【0021】この発明の請求項8に係るサイバーチケットシステムは、前記パソコンが、前記入退場テーブルの入／退場フラグ欄を参照して、未入場を表すフラグの携帯情報端末の電話番号について、電話を掛けてキャンセル要求があるかどうかを確認し、キャンセルを確認した場合には、前記入退場テーブルの該当電話番号に対応する入／退場フラグ欄にキャンセルを表すフラグをセットし、前記イベントサーバへ該当電話番号に対応するイベントのサイバーチケットをキャンセルするためのキャンセル登録の要求を出し、前記イベントサーバは、少なくとも前記携帯情報端末の電話番号、及び前記電話番号に対応したフラグから構成されている所定のイベントにつ

いてのイベント情報テーブルを有し、前記キャンセル要求に基いて前記イベント情報テーブルのフラグ欄にキャンセルを表すフラグをセットし、これに基いてキャンセルされたサイバーチケットを予約販売処理と同様に再販売処理を行うものである。

【0022】この発明の請求項9に係るサイバーチケットシステムは、前記入退場テーブルに、入／退場時刻欄をさらに設け、前記パソコンは、前記入退場テーブルの入／退場時刻欄を参照して途中退場者を特定し、前記入退場テーブルの該当入／退場フラグ欄に途中退場を表すフラグをセットし、前記イベントサーバへ該当電話番号に対応するイベントのサイバーチケットの持主が途中退場した旨を通知し、前記イベントサーバは、少なくとも前記携帯情報端末の電話番号、及び前記電話番号に対応したフラグから構成されている所定のイベントについてのイベント情報テーブルを有し、前記通知に基いて前記イベント情報テーブルのフラグ欄に途中退場を表すフラグをセットし、これに基いて途中退場したサイバーチケットを予約販売処理と同様に再販売処理を行うものである。

【0023】この発明の請求項10に係るサイバーチケットシステムは、前記イベントサーバが、所定のイベント情報毎に少なくとも待ち順番、及び前記携帯情報端末の電話番号から構成されているキャンセル待ちリストを有し、キャンセル待ち登録時に、そのときに使用した携帯情報端末の電話番号を、前記キャンセル待ちリストの待ち順番順に登録し、前記イベント情報テーブルのキャンセル情報に基いて、キャンセルされたサイバーチケットを、前記キャンセル待ちリストの待ち順番の登録順に、予約販売処理と同様に再販売処理を行うものである。

【0024】この発明の請求項11に係るサイバーチケットシステムは、前記イベントサーバが、前記携帯情報端末からのグレード変更要求に基き、前記イベント情報についてグレードの異なるサイバーチケットの有無を調べ、グレードの異なるサイバーチケットが有る場合には、そのときに使用した携帯情報端末の電話番号を、前記グレードの異なるイベントとともに前記イベント情報として格納することによりグレードを変更するものである。

【0025】この発明の請求項12に係るサイバーチケットシステムは、前記イベントサーバが、1台の携帯情報端末を使用して複数のサイバーチケットを予約した場合において、前記携帯情報端末からの電話番号変更要求に基き、前記イベント情報の予約に使用した携帯情報端末の電話番号から他の携帯情報端末の任意の電話番号に変更するものである。

【0026】この発明の請求項13に係るサイバーチケットシステムは、前記イベントサーバが、1台の携帯情報端末を使用して1つのサイバーチケットを予約した場

合において、前記携帯情報端末からの電話番号変更要求に基き、前記イベント情報の予約に使用した携帯情報端末の電話番号から他の携帯情報端末の任意の電話番号に変更するものである。

【0027】この発明の請求項14に係るサイバーチケットシステムは、前記イベントサーバが、チケット代金を、前記携帯情報端末の料金とは別口座とし、電話料金と同様に引き落とすものである。

10 【0028】この発明の請求項15に係るサイバーチケットシステムは、前記イベントサーバが、チケット代金を、携帯情報端末会社、イベント開催業者、チケット販売業者に、予め決めた割合で分配するものである。

【0029】

【発明の実施の形態】実施の形態1. この発明の実施の形態1に係るサイバーチケットシステムについて図面を参照しながら説明する。図1は、この発明の実施の形態1に係るサイバーチケットシステムの構成を示す図である。なお、各図中、同一符号は同一又は相当部分を示す。

20 【0030】図1において、1は携帯電話、2はイベント情報、携帯電話の電話番号などを記憶している磁気ディスク装置等の記憶装置を有するイベントサーバ、5はイベント会場である。なお、本明細書では、『携帯情報端末』として、携帯電話1について説明しているが、携帯電話1の代わりに、例えばノート型パソコンや、電子手帳、ポケットベル（登録商標）等の携帯用の電子機器であっても構わないのは勿論である。

【0031】また、同図において、11は携帯電話1の表示部、12はキー入力部、13は通信処理部である。

30 【0032】さらに、イベントサーバ2の記憶装置に記憶する情報として、予約に使用した携帯電話1の電話番号と、該電話番号に対応するイベント情報とがある。

【0033】つぎに、この実施の形態1に係るサイバーチケットシステムの動作について図面を参照しながら説明する。図2は、この実施の形態1に係るサイバーチケットシステムの動作を示す図である。

【0034】図2の初期メニュー画面111～予約OK画面116に示すように、携帯電話1を用いて、イベントのサイバーチケットの予約完了までの基本的な動作の流れは、従来例と同様であるので、同様の動作については説明を省略する。

【0035】予約が完了すると、イベントサーバ2では、図1に示すように、イベント情報と共に予約時に使用した携帯電話1の電話番号を記憶装置に記憶する。

【0036】次に、イベントに参加するために、携帯電話1を持参したユーザがイベント会場5に到着すると、イベントサーバ2に電話を掛け、予約登録状況を確認する。

50 【0037】この確認操作も、予約操作と同様、携帯電話1のiモードサービスなどを使用する。ユーザがイベ

ントサーバ2に電話を掛けると、携帯電話1の通信処理部13は、表示部11に初期メニュー画面111を表示する。

【0038】次に、ユーザが初期メニュー画面111で、キー入力部12の「3」と「#」を押下すると、通信処理部13は、表示部11に図2に示すイベント確認画面117を表示する。

【0039】さらに、ユーザがイベント確認画面117で、キー入力部12の「1」と「#」を押下すると、通信処理部13は、表示部11に図2に示す予約確認画面118を表示する。

【0040】このとき発信者番号通知により、予約に使用した携帯電話1からしか該イベント情報を取り出せない様、イベントサーバ2を構成しても良い。

【0041】イベント開催業者は、ユーザにより提示された携帯電話1の表示部11に表示された予約確認画面118で確認し、該ユーザの入場を許可する。ここまでの操作で、チケットの郵送は不要である。つまり、携帯電話1自体がチケットの代用となる。

【0042】チケット代金は、従来の電話料金引き落としと同様の銀行などの自動引き落としサービスを使用する。つまり、ユーザが図2に示す画面115で、キー入力部12の「1」と「#」を押下すると、イベントサーバ2から携帯電話会社にチケット代金の引き落とし要求を行う。チケット販売業者にチケット代金の引き落とし要求を行っても良い。あるいは、直接、銀行などへ引き落とし要求を出しても良い。銀行では、携帯電話の電話料金とは別項目で、チケット代金の引き落としを行う。

【0043】すなわち、本実施の形態1に係るサイバーチケットシステムは、携帯電話1を用いてイベント等のサイバーチケットを予約、販売するシステムにおいて、予約時に使用するとともに従来のチケット代わりに使用する携帯電話1と、この携帯電話1の電話番号を予約したイベント情報と共に記憶する記憶装置と、上記イベントへの参加時に該電話番号を照合するイベントサーバ2とを備えたものである。

【0044】この実施の形態1に係るサイバーチケットシステムでは、サイバーチケットを予約したユーザがチケット代金を払うために、郵便局などの代金払込所に赴く必要がなく、またチケット販売業者もユーザにチケットを郵送する必要が無くなる。

【0045】実施の形態2. この発明の実施の形態2に係るサイバーチケットシステムについて図面を参照しながら説明する。図3は、この発明の実施の形態2に係るサイバーチケットシステムの構成を示す図である。

【0046】図3において、6はイベント会場5に配布された紙の、予約番号、携帯電話1の電話番号等から構成されているイベント情報一覧表、あるいはブラウザ付パソコン、7はイベント会場5に設置され、携帯電話1に電話を掛けるための電話又は携帯電話である。なお、

他の構成は、上記実施の形態1と同様である。

【0047】紙のイベント情報一覧表6は、イベント開催前にイベント会場5に配布しておく。この紙の情報の代わりに、電子的手法でも構わない。この電子的手法の場合には、イベントサーバ2をWebサーバで構成し、イベント会場5に設置したパソコン6のブラウザにより、インターネット経由で、イベント情報一覧を簡単に入手、表示させる事ができる。

【0048】つぎに、この実施の形態2に係るサイバーチケットシステムの動作について図面を参照しながら説明する。

【0049】上記実施の形態1では、イベントサーバ2の記憶装置に、携帯電話1の電話番号とイベント情報とを関連付けて記憶していたが、この実施の形態2では、イベント予約時にイベントサーバ2が予約番号を発行するものであり、この予約番号を携帯電話1の電話番号とイベント情報とに関連付けて記憶するもので、予約操作は基本的に上記実施の形態1と同様である。

【0050】この場合、予約番号をユーザに知らせるために、通信処理部13は携帯電話1の表示部11に、例えば図2に示す予約OK画面116を表示させる。このときの予約OK画面116には、説明文「～予約しました。」の後に、説明文「予約番号は、1234です。」が追加されている。

【0051】また、上述したように、イベントサーバ2の記憶装置には、該予約番号を予約に使用した携帯電話番号、及びイベント情報と共に対応させて記憶しておく。

【0052】まず、イベントに参加するユーザがイベント会場5に到着した際、イベント開催業者に予約番号を提示する。

【0053】次に、イベント開催業者は、該予約番号に対応する携帯電話1の電話番号を、イベント情報一覧表6を用いて特定し、該電話番号に対して会場の電話7により電話を掛ける。

【0054】するとユーザが持参した携帯電話1が着信し、その着信音により、予約に使用した携帯電話1を特定することが可能となる。

【0055】一方、パソコン6を使用する場合には、イベント開催業者は、該予約番号をパソコン6に入力する。すると、イベントサーバ2は、予約番号に対応する携帯電話1の電話番号を、記憶装置に記憶してあるイベント情報一覧表を検索して特定し、パソコン6に表示する。そして、イベント開催業者は、パソコン6から読取った該電話番号に対して会場の電話7により電話を掛ける。なお、イベントサーバ2が予約番号に対応する携帯電話1の電話番号を特定した後、その電話番号に直接電話を掛けてもよい。

【0056】また、携帯電話1の表示部11には、携帯電話1を特定するために掛けた電話7の発信者側電話番号

10

20

30

40

50



号が表示され、携帯電話1の特定がより確実となる。この場合、着信した携帯電話1において、回線接続操作（通常電話では、オフフック）をしない限り、電話料金は発生しない。

【0057】すなわち、この実施の形態2に係るサイバーチケットシステムは、イベントの予約時にユーザに割り振られる固有の予約番号を発行するイベントサーバ2と、この予約番号を、予約時に使用した携帯電話1の電話番号及びイベント情報と共に記憶する記憶装置と、イベントへの参加時などに、予約番号を元に該予約番号に対応する携帯電話1を特定するための電話7とを備えたものである。

【0058】この実施の形態2に係るサイバーチケットシステムは、予約番号に対応した携帯電話1の電話番号一覧により、ユーザが言う予約番号により携帯電話1の電話番号が特定でき、該電話番号に電話をかければ、着信音が鳴ることでユーザの携帯電話1を特定することができる。この場合、接続（通常電話で言うオフフック）しなければ電話料金は発生しない。

【0059】実施の形態3. この発明の実施の形態3に係るサイバーチケットシステムについて説明する。なお、基本的な構成、及び動作は、上記の実施の形態2と同様である。

【0060】この実施の形態3は、ユーザの暗証番号と、携帯電話1の電話番号とを演算する機能をイベントサーバ2に設け、この一意に決まる値を予約番号とするものである。

【0061】例えば、携帯電話1の電話番号の各桁の和と暗証番号との積などとする。携帯電話1の電話番号が090-1234-5678で、暗証番号が1234である場合には、予約番号は55530となる。

【0062】 $(0+9+0+1+2+3+4+5+6+7+8) \times 1234 = 45 \times 1234 = 55530$

【0063】これは、チケット販売業者が任意に決めた予約番号では、ユーザが忘れてしまう場合があるためである。一方、ユーザが指定する暗証番号を元に演算した予約番号とすれば、ユーザは暗証番号を忘れる事もないし、携帯電話1を拾って保持者になりすました者がイベントに参加することも防げる。さらに、イベント毎に固有の番号を加えて、演算しても構わない。その結果、セキュリティ性がさらに増す。

【0064】ユーザは、イベント予約時に、暗証番号を指定する。携帯電話1の通信処理部13は、表示部11に、例えば図2に示す画面115の後に、暗証番号の入力を促す所定の画面を表示する。ユーザが暗証番号、例えば「1234」を入力すると、イベントサーバ2は、上述したように予約番号を演算し、この予約番号を、暗証番号と、携帯電話1の電話番号と、イベント情報とに関連付けて記憶装置に記憶する。予約操作及び確認操作は基本的に上記実施の形態2と同様である。この場合、

予約番号をユーザに知らせる必要はない。

【0065】また、ユーザは、イベント参加時に、イベント会場5に到着すると、イベント開催業者に暗証番号を提示する。

【0066】イベント開催業者は、該暗証番号をパソコン6に入力する。すると、イベントサーバ2は、暗証番号に対応する携帯電話1の電話番号を、記憶装置に記憶してあるイベント情報一覧表を検索して特定し、パソコン6に表示する。そして、イベント開催業者は、パソコン6から読取った該電話番号に対して会場の電話7により電話を掛ける。なお、イベントサーバ2が暗証番号に対応する携帯電話1の電話番号を特定した後、その電話番号に直接電話を掛けてもよい。

【0067】すなわち、この実施の形態3に係るサイバーチケットシステムは、携帯電話1の電話番号とユーザが指定した任意の暗証番号から計算した値を予約番号とするものである。

【0068】この実施の形態3に係るサイバーチケットシステムは、イベントに参加するユーザ固有の暗証番号より予約番号が計算されるため、ユーザは簡単な暗証番号だけを記憶しておけば良い。また、なりすましを防止することができる。

【0069】実施の形態4. この発明の実施の形態4に係るサイバーチケットシステムについて図面を参照しながら説明する。図4は、この発明の実施の形態4に係るサイバーチケットシステムの構成を示す図である。

【0070】図4において、8は携帯電話1に付属させた、指紋照合センサなどの個人識別端末である。なお、他の構成は、上記実施の形態3と同様である。

【0071】この場合、イベントサーバ2の記憶装置に、予め、個人情報として指紋情報などを登録しておく。つまり、ユーザは、指紋情報等の個人情報を予め登録するための所定の電話番号でイベントサーバ2に電話を掛ける。次に、携帯電話1の表示部11に表示された所定の画面の指示に従い、携帯電話1に付属した個人識別端末8を使用して自分の指紋情報をイベントサーバ2に送る。イベントサーバ2では、例えばそのときの携帯電話1の電話番号とともに指紋情報を記憶装置に記憶する。

【0072】その後、サイバーチケット予約時に、指紋照合すれば、別人によるなりすましチケット予約が防げる。つまり、ユーザは、サイバーチケット予約時に、携帯電話1に付属した個人識別端末8を使用して自分の指紋情報をイベントサーバ2に送る。イベントサーバ2では、既に記憶装置に記憶している携帯電話1の電話番号に対応した指紋情報と、サイバーチケット予約時に送られてきた指紋情報とを照合する。一致していれば、予約を受け付け、指紋情報とこの時点で入力した暗証番号も対応付けて記憶装置に記憶する。また、不一致であれば予約を受け付けない。

【0073】また、イベント参加時にも指紋照合を行えば、なりすまして入場することも防げる。つまり、ユーザは、イベント参加時に、暗証番号を提示する。上記実施の形態3で説明した所定の操作の後、ユーザが持参した携帯電話1が着信する。その着信音により、ユーザが回線接続操作を行い、携帯電話1に付属した個人識別端末8を使用して自分の指紋情報をイベントサーバ2に送る。イベントサーバ2では、既に記憶装置に記憶している指紋情報と、この送られてきた指紋情報とを照合する。一致していれば、その旨を携帯電話1に表示してイベント参加を許可し、不一致であれば、その旨を携帯電話1に表示してイベント参加を許可しない。

【0074】すなわち、この実施の形態4に係るサイバーチケットシステムは、携帯電話1に指紋照合センサなどの個人識別端末8を付属させたものである。

【0075】この実施の形態4に係るサイバーチケットシステムは、指紋照合を行うことにより、予約時やイベント参加時に個人の特定が可能となり、なりすましを防止することができる。

【0076】実施の形態5、この発明の実施の形態5に係るサイバーチケットシステムについて図面を参照しながら説明する。図5は、この発明の実施の形態5に係るサイバーチケットシステムの入退場テーブルの構成を示す図である。なお、この実施の形態5の構成は、基本的に上記実施の形態2と同様である。

【0077】上記実施の形態2では、イベント情報をブラウザするパソコン6を設ける例を示したが、この実施の形態5では、このパソコン6に、イベント会場5への入場者及びイベント会場5からの退場者を、予約番号、携帯電話1の電話番号などで管理する機能を、入退場テーブル61を用いてソフト的に実現したものである。

【0078】該機能は、イベントサーバ2の機能としても良い。この場合には、パソコン6より、入場／退場のタイミングで、イベントサーバ2に対し問い合わせ、および指示を行う。

【0079】ユーザがイベント会場5に入場するとき、パソコン6は、提示された予約番号と、この予約番号に基いて特定した、入場したユーザが持つ携帯電話1の電話番号と共に、「入」フラグを、入退場テーブル61に入力、記憶する。

【0080】逆に、ユーザがイベント会場5から退場するときには、同様に、ユーザにより提示された予約番号に基いて特定した携帯電話1の電話番号から、「退」フラグを、入退場テーブル61に入力、記憶する。また、入場／退場したタイミングの時刻も同時に、入退場テーブル61に入力、記憶する。これは、MS-Excelなどの表計算ソフトなどで簡単に実現できる。

【0081】これにより、既入場者が不正行為を働き、携帯電話1を他人に貸し出し、他人を入場させることを防げる。つまり、なりすまし者が入場しようとする場

合、なりすまし者が所持する携帯電話1は、該電話番号と共に「入」フラグが既に記憶されているため、入場を拒否できる。正規に退場する場合は、「退」フラグを人力、記憶するため、再入場が可能となる。

【0082】すなわち、この実施の形態5に係るサイバーチケットシステムは、イベント会場5への入場、およびイベント会場5からの退場を、予約番号、携帯電話1の電話番号を用いて管理するものである。

【0083】この実施の形態5に係るサイバーチケットシステムは、携帯電話1を持つユーザの入場及び退場を管理することにより、携帯電話1の貸借により、イベント参加不許可者の入場を制限できる。

【0084】実施の形態6、この発明の実施の形態6に係るサイバーチケットシステムについて説明する。なお、この実施の形態6の構成は、基本的に上記実施の形態5と同様である。

【0085】この実施の形態6では、ユーザの入場時においては、入場する携帯電話に対して、「転送電話サービス」などを利用し、携帯電話1にかかってきた電話を、イベント開催中は会場の電話7などに転送する設定を行う。

【0086】つまり、イベント開催業者は、パソコン6に表示された入退場テーブル61の入／退場フラグ欄を参照して、「入」フラグの携帯電話1の電話番号について、電話会社に対してイベント開催中だけ「転送電話サービス」の設定を行う。以上の設定操作をパソコン6でソフト的に実現してもよい。パソコン6は、入退場テーブル61の入／退場フラグ欄を参照して、「入」フラグの携帯電話1の電話番号について、電話会社に対してイベント開催中だけ「転送電話サービス」の設定を行うように要求を送信する。

【0087】こうして、携帯電話1が着信音を鳴らすことが無いため、イベントの妨げになることを防止できる。

【0088】また、電話網側に着信不可の携帯電話1とその期間を登録する機能を設けても、同様の効果を得ることは、いうまでもない。

【0089】すなわち、この実施の形態6に係るサイバーチケットシステムは、入場者が持つ携帯電話1への着信を、イベント開催期間中は、一時的に不可とするものである。

【0090】この実施の形態6に係るサイバーチケットシステムは、入場者が持つ携帯電話1に対する着信がなくなるため、イベント中の迷惑防止になる。

【0091】実施の形態7、この発明の実施の形態7に係るサイバーチケットシステムについて図面を参照しながら説明する。図6は、この発明の実施の形態7に係るサイバーチケットシステムの入退場テーブルの構成を示す図である。なお、この実施の形態7の構成は、基本的に上記実施の形態5と同様である。

【0092】この実施の形態7では、入場／退場管理を行い、未入場者一覧を検索する機能をパソコン6に設けたものである。これも上記実施の形態5と同様、表計算ソフトで簡単に実現できる。

【0093】この場合、上記実施の形態5の入退場テーブル61において、入／退場フラグの列で、「入」および「退」フラグがないものが、未入場者となる。

【0094】または、図6に示すように、入退場テーブル62の初期作成時において、入／退場フラグの初期値として「未」を入れ、全てのイベント参加予定ユーザの入／退場テーブル62を作成しておいても良い。この場合は、入／退場フラグ欄が「未」のユーザが、未入場者となる。

【0095】パソコン6に表示された入退場テーブル61、又は62により、イベント開催前に未入場者を把握することができ、イベント開催業者は、未入場者の携帯電話1に電話をかけ、イベント開催を知らせるサービスが可能となる。以上の操作をパソコン6でソフト的に実現してもよい。パソコン6は、入退場テーブル61、62の入／退場フラグ欄を参照して、「入」および「退」フラグがないもの、あるいは「未」フラグの携帯電話1の電話番号について、電話を掛けてイベント開催を知らせる音声案内を送信する。

【0096】すなわち、この実施の形態7に係るサイバークケットシステムは、イベント開始時刻前に、イベント会場5へ未だ到着していない入場予定者を確認するとともに、該入場予定者の携帯電話1に電話をかけ、イベントの開始を知らせるものである。

【0097】この実施の形態7に係るサイバークケットシステムは、予約しているユーザのうち、未入場者に対して、イベントの参加を促すことができる。

【0098】実施の形態8、この発明の実施の形態8に係るサイバークケットシステムについて図面を参照しながら説明する。図7は、この発明の実施の形態8に係るサイバークケットシステムのイベント情報テーブルの構成を示す図である。なお、この実施の形態8の構成は、基本的に上記実施の形態5と同様である。

【0099】この実施の形態8では、上記実施の形態7と同様に、イベント会場5に未入場のユーザの携帯電話1に電話をかけ、キャンセル要求があるかどうかを確認し、キャンセルを確認した場合には、該予約のキャンセル登録を行う機能を、パソコン6及びイベントサーバ2に設けるものである。

【0100】イベント開催業者は、キャンセルを確認した場合には、パソコン6の入退場テーブル61又は62において、該当電話番号の入／退場フラグに「×」を入力する。以上の操作をパソコン6でソフト的に実現してもよい。パソコン6は、入退場テーブル61、62の入／退場フラグ欄を参照して、「入」および「退」フラグがないもの、あるいは「未」フラグの携帯電話1の電話

番号について、電話を掛けてキャンセル要求があるかどうか、例えばキャンセル要求の問合せの音声案内を流し電話の所定のプッシュダイヤルを押してもらうことによりキャンセル要求があるかどうかを確認し、キャンセルを確認した場合には、入退場テーブル61又は62において、該当電話番号の入／退場フラグに「×」を入力する。

【0101】さらに、会場設置のパソコン6などから、イベントサーバ2へアクセスし、イベント情報の該当携帯電話1の電話番号や予約番号に対するイベントのサイバークケットをキャンセルするためのキャンセル登録の要求を出す。イベントサーバ2は、イベント情報テーブル21において、キャンセルを表す「×」フラグを入力、記憶する。なお、イベントサーバ2は、携帯電話1を使用して予約操作と同様の所定のキャンセル操作があった場合にも、イベント情報テーブル21において、キャンセルを表す「×」フラグを入力、記憶する。

【0102】キャンセル登録後は、該サイバークケットの再販売が可能となる。つまり、ユーザは、携帯電話1よりサイバークケット予約と同様の操作をイベントサーバ2にアクセスして行い、イベント情報テーブル21を参照してキャンセルの有無を確認し、「×」が有れば予約登録する。

【0103】また、再販売が完了した場合、元の予約者を特定する機能と、該予約者に対してチケット代金をキャッシュバックする機能をイベントサーバ2は持つ。例えば、自動引き落とし処理後は、同額の代金を自動振り込みするとかである。

【0104】さらに、再販売が完了した場合、イベントサーバ2は、イベント情報テーブル21において、キャンセルを表す「×」をリセットするとともに、新たにサイバークケット予約した携帯電話1の電話番号を記憶する。

【0105】すなわち、この実施の形態8に係るサイバークケットシステムは、イベント開始時刻前に、イベント会場5へ未だ到着していない入場予定者を確認し、該入場予定者の携帯電話1に電話をかけ、キャンセルか否かを確認し、キャンセル時にはそのサイバークケットを再販し、再販が完了した場合にキャンセルしたユーザに対してキャッシュバックするものである。

【0106】この実施の形態8に係るサイバークケットシステムは、未入場者に対してキャンセルの有無を事前に確認でき、サイバークケットの再販売が可能となる。再販売後は、最初の予約者に対してキャッシュバックできる。

【0107】実施の形態9、この発明の実施の形態9に係るサイバークケットシステムについて図面を参照しながら説明する。なお、この実施の形態9の構成は、基本的に上記実施の形態5と同様である。

【0108】上記実施の形態8では、キャンセルしたユ

ーザに対する操作を説明したが、この実施の形態9では、途中退場者にあてはめたものである。

【0109】パソコン6は、途中退場者を人／退場管理機能、例えば入／退場テーブル61の入／退場時刻欄により確認すると、入／退場テーブル61又は62の入／退場フラグに「△」を記入、記憶するとともに、イベントサーバ2にアクセスし、その旨を通知する。イベントサーバ2は、該イベント情報テーブル21に、途中退場フラグ「△」を付加し記憶する。

【0110】途中退場登録後は、該サイバーチケットの再販売が可能となる。再販売が完了した場合、途中退場者を特定する機能と、該途中退場者に対してチケット代金をキャッシュバックする機能をイベントサーバ2に設ける。

【0111】このとき、イベント途中であれば再販売が成立した時点のイベントの進行時間に応じた、再販売価格を決めても良い。例えば、イベントが予定の半分まで進行している場合に再販売が成立したときは、再販売価格は、もとの代金の半額にするなどである。

【0112】再販売が成立する時点は、刻々と変化するため、再販売価格もそれに依じて変化する。キャッシュバック価格は、再販売価格をもとにして決めても良いし、入場していた時間に依じた価格としても良い。

【0113】すなわち、この実施の形態9に係るサイバーチケットシステムは、イベント途中で退場する場合、その退場者のチケット情報を確認し、イベントの経過時間に依じた価格で該サイバーチケットを再販し、再販が完了した場合に途中で退場したユーザに対してキャッシュバックするものである。

【0114】この実施の形態9に係るサイバーチケットシステムは、イベント途中退場者のサイバーチケットを、格安に再販売できる。再販売後は、途中退場者に対してキャッシュバックも可能となる。

【0115】実施の形態10。この発明の実施の形態10に係るサイバーチケットシステムについて図面を参照しながら説明する。図8は、この発明の実施の形態10に係るサイバーチケットシステムのキャンセル待ちリストの構成を示す図である。なお、この実施の形態10の構成は、基本的に上記実施の形態1又は2と同様である。

【0116】この実施の形態10では、携帯電話1を使い、イベントサーバ2にアクセスし、サイバーチケット予約操作と同様に、キャンセル待ちを登録する機能を、イベントサーバ2に設けるものである。このキャンセル待ち登録操作は、例えば、図2の初期メニュー画面111に、『4. キャンセル待ち』を新たに設け、携帯電話1のキー入力部12の「4」と「#」を押下すると、始まる。次に、イベント情報を予約操作と同様に特定し、そして、予約OK画面116の代わりに、キャンセル待ちOK画面で終了する。

【0117】キャンセル待ちは、特定のイベントに対して、複数の携帯電話1の電話番号を、キャンセル登録要求順に記憶するように、イベントサーバ2は、図8に示すようなキャンセル待ちリスト22を構成する。

【0118】キャンセルが発生すると、イベントサーバ2は、キャンセル待ちリスト22の上位より順番に、キャンセル後のサイバーチケットを割り当てる。例えば、イベントサーバ2は、イベント情報テーブル21において、キャンセルを表す「×」フラグがあると、サイバーチケットを割り当てる。

【0119】次に、イベントサーバ2は、サイバーチケット割り当て後、該携帯電話1に電話をかけ、キャンセルチケットが入手できたことを送信し、サイバーチケット購入意志の確認が取れた時点で、正規予約と同様の処理を行い、同時にキャンセル待ちリスト22から該当電話番号を削除する。

【0120】上記説明では、イベント毎にキャンセル待ちリスト22を作成するとしたが、特定イベントの席のグレード別に、図8に示すように、キャンセル待ちリスト23を作成しても良い。

【0121】すなわち、この実施の形態10に係るサイバーチケットシステムは、携帯電話1を用いてキャンセル待ちを登録し、キャンセルが発生した場合、キャンセル待ちユーザに対してサイバーチケットを販売するものである。

【0122】この実施の形態10に係るサイバーチケットシステムは、キャンセル待ち登録後、キャンセルの発生により、サイバーチケットが入手できる。

【0123】実施の形態11。この発明の実施の形態11に係るサイバーチケットシステムについて説明する。なお、この実施の形態11の構成は、基本的に上記実施の形態1又は2と同様である。

【0124】この実施の形態11では、イベントサーバ2のイベント情報を、席のグレード別にアクセスする機能を、イベントサーバ2に設けたものである。

【0125】ユーザは、携帯電話1を用いて、予約操作と同様の操作で、例えば、初期メニュー画面の後でグレードを選択できる所定の画面が表示され、別グレードの席の有無を検索する。所望のグレードの席があれば、今、所持しているグレードの席との交換を、イベントサーバ2に対して要求する。

【0126】ユーザは、イベント会場5にて席が空いていることを確認した場合、空席かどうかを携帯電話1によりイベントサーバ2に確認し、サイバーチケット交換処理後、確実に所望の席の移動を行うことができる。

【0127】すなわち、この実施の形態11に係るサイバーチケットシステムは、イベント開催中に、グレードの異なるサイバーチケットの有無を携帯電話1より調べ、サイバーチケットのグレードを変更し、サイバーチケットの差額を計算し、加算またはキャッシュバックす

るものである。

【0128】この実施の形態11に係るサイバーチケットシステムは、グレードの異なるサイバーチケットの有無が手元の携帯電話1で確認でき、グレードが異なるサイバーチケットが存在する場合、グレードアップ/ダウンした、サイバーチケットの入手が可能となる。

【0129】実施の形態12. この発明の実施の形態12に係るサイバーチケットシステムについて説明する。なお、この実施の形態12の構成は、基本的に上記実施の形態1又は2と同様である。

【0130】1台の携帯電話1にて、複数のサイバーチケットを予約しても構わない。この場合、イベントサーバ2のイベント情報には、予約に使用した携帯電話1の電話番号が複数個記憶されている。

【0131】この電話番号を、予約に使用した携帯電話1より、任意の電話番号に変更する機能をイベントサーバ2に設ける。このとき、変更要求が可能な予約は、予約に使用した携帯電話1からだけで、該電話番号より予約したイベントのサイバーチケットのみに限定する。

【0132】予約成立後は、変更した携帯電話を所持し、イベントに参加すると、該電話番号が確認できることは、上記実施の形態1又は2と同様である。

【0133】また、携帯電話1を所持していないユーザの場合は、携帯電話1を持ったユーザと同伴でイベントに参加する。この場合、携帯電話1を所持するユーザは、同伴する人の人数分を含めたサイバーチケットを、自分の携帯電話1で予約する必要がある。

【0134】チケット代金の徴収は、最終的に登録され、イベントに参加した携帯電話1の電話料金と同じ口座から、引き落とされる様にする。または、最初に予約した携帯電話1の所持者に、全員分の引き落とし処理を確認した後であれば、該携帯電話1の引き落とし口座から徴収しても良い。

【0135】すなわち、この実施の形態12に係るサイバーチケットシステムは、1台の携帯電話1より、複数サイバーチケットを予約した場合、予約した携帯電話1より、任意の携帯電話の電話番号をイベント情報と共に記憶させるものである。

【0136】この実施の形態12に係るサイバーチケットシステムは、複数サイバーチケットを予約した場合、チケット枚数分のサイバーチケットの配布が携帯電話1より簡易に行える。

【0137】実施の形態13. この発明の実施の形態13に係るサイバーチケットシステムについて説明する。なお、この実施の形態13の構成は、基本的に上記実施の形態1又は2と同様である。

【0138】上記実施の形態12では、複数のサイバーチケットを予約する場合のサイバーチケットに対する携帯電話1の電話番号の変更を許容したが、1つのサイバーチケットであっても同様で、構わない。

【0139】つまり、サイバーチケットの交換や、携帯電話を変更する場合の操作となる。操作の流れは、上記実施の形態12と同様であるため説明を省略する。

【0140】また、最初に予約に使用する電話は、携帯電話でなくても良い。つまり、会場へ持参する携帯電話1の電話番号を、後で上記操作により変更すれば良い。

【0141】すなわち、この実施の形態13に係るサイバーチケットシステムは、サイバーチケットを予約した携帯電話1より、任意の携帯電話の電話番号を予約したイベント情報に当てるものである。

【0142】この実施の形態13に係るサイバーチケットシステムは、携帯電話1を買い換えた場合に対応できる。また、他人にサイバーチケットを譲る事が可能となる。

【0143】実施の形態14. この発明の実施の形態14に係るサイバーチケットシステムについて説明する。なお、この実施の形態14の構成は、基本的に上記実施の形態1又は2と同様である。

【0144】上記実施の形態1では、チケット代金の徴収は、携帯電話1の電話料金と同様の、例えば銀行の同じ自動引き落とし口座を利用したが、この実施の形態14では、電話料金とは別口座で引き落とす機能をイベントサーバ2に設ける。このことにより、チケット代金を振り込むために、郵便局などの代金払込所へ赴く必要がなくなる。

【0145】すなわち、この実施の形態14に係るサイバーチケットシステムは、チケット代金を、携帯電話1の料金とは別口座とし、電話料金と同様に引き落とすものである。

【0146】この実施の形態14に係るサイバーチケットシステムは、チケット代金を払い込むために代金払込所に赴く必要がなくなる。

【0147】実施の形態15. この発明の実施の形態15に係るサイバーチケットシステムについて説明する。なお、この実施の形態15の構成は、基本的に上記実施の形態1又は2と同様である。

【0148】チケット代金を、携帯電話会社、イベント開催業者、イベント開催場所提供業者とチケット販売業者に、予め決めた割合で分配する機能をイベントサーバ2に設ける。イベントサーバ2は、自動引き落としで入金したチケット代金を予め決めた割合で各業者の指定口座に送金する。

【0149】サイバーチケットを予約するのにかけた電話代金は、予約成立した場合は無料としても良い。この場合は、チケット代金に電話料金が含まれることになるが、チケット代金は、電話をかけている時間に無関係に一定額となる。

【0150】キャンセルや途中退場者があった場合の、再販売価格などは、イベント場所提供業者のみで、自由に決定してもかまわない。

【0151】すなわち、この実施の形態15に係るサイバーチケットシステムは、チケット代金を、携帯電話会社、イベント場所提供業者、イベント開催業者、チケット販売業者などに分配するものである。

【0152】この実施の形態15に係るサイバーチケットシステムは、各事業者毎に決めた、チケット代金取り分を配布できる。

【0153】

【発明の効果】この発明の請求項1に係るサイバーチケットシステムは、以上説明したとおり、イベント情報を格納し、イベントのサイバーチケットの予約、販売を管理するイベントサーバと、所定のイベントのサイバーチケットを予約するため、かつイベント会場に入場する際に提示するための携帯情報端末とを備え、前記イベントサーバは、予約時に、そのときに使用した携帯情報端末の電話番号を、前記予約した所定のイベントとともに前記イベント情報として格納し、前記携帯情報端末は、持主の前記イベント会場の入場時に、前記イベントサーバにアクセスされて、前記予約した所定のイベントとともに予約時に使用した電話番号を表示するので、チケット販売業者がユーザにチケットを郵送する必要がなくなるという効果を奏する。

【0154】この発明の請求項2に係るサイバーチケットシステムは、以上説明したとおり、イベント情報を格納し、イベントのサイバーチケットの予約、販売を管理するイベントサーバと、所定のイベントのサイバーチケットを予約するため、かつイベント会場に入場する際に提示するための携帯情報端末と、前記イベント会場に設置され、前記イベントサーバにアクセスするためのパソコンと、前記イベント会場に設置され、前記携帯情報端末を特定するための電話とを備え、前記イベントサーバは、予約時に、予約番号を発行して前記携帯情報端末へ通知し、前記予約番号を、そのときに使用した携帯情報端末の電話番号、及び前記予約した所定のイベントとともに前記イベント情報として格納し、前記パソコンは、前記携帯情報端末の持主の前記イベント会場の入場時に、提示された前記予約番号に基いて前記携帯情報端末の電話番号を検索し、前記携帯情報端末は、持主の前記イベント会場の入場時に、前記電話により前記検索された電話番号が掛けられて着信音を鳴らすので、チケット販売業者がユーザにチケットを郵送する必要がなくなるという効果を奏する。

【0155】この発明の請求項3に係るサイバーチケットシステムは、以上説明したとおり、前記イベントサーバが、前記予約番号を、予約時に使用した携帯情報端末の電話番号、及び前記携帯情報端末の持主が指定した暗証番号に基いて計算し、前記パソコンは、前記予約番号の代わりに前記暗証番号に基いて前記携帯情報端末の電話番号を検索するので、ユーザは簡単な暗証番号だけを記憶しておけばよく、なりすましを防止することができ

るという効果を奏する。

【0156】この発明の請求項4に係るサイバーチケットシステムは、以上説明したとおり、前記携帯情報端末に付属した個人識別端末をさらに備え、前記イベントサーバは、予め前記個人識別端末から入力した前記携帯情報端末の持主の第1の指紋情報を、そのときに使用した携帯情報端末の電話番号とともに記憶し、予約時に前記個人識別端末から入力した前記携帯情報端末の持主の第2の指紋情報を前記第1の指紋情報と照合し、持主の前記イベント会場の入場時に前記個人識別端末から入力した前記携帯情報端末の持主の第3の指紋情報を前記第1の指紋情報と照合するので、予約時やイベント参加時に個人の特定が可能となり、なりすましを防止することができるという効果を奏する。

【0157】この発明の請求項5に係るサイバーチケットシステムは、以上説明したとおり、前記パソコンが、少なくとも前記携帯情報端末の電話番号、及び前記電話番号に対応した入／退場フラグから構成されている入退場テーブルを有し、前記携帯情報端末の持主の前記イベント会場への入場、及び前記イベント会場からの退場を、前記携帯情報端末の電話番号に基いて前記入退場テーブルを用いて管理するので、携帯情報端末の貸借により、イベント参加不許可者の入場を制限できるという効果を奏する。

【0158】この発明の請求項6に係るサイバーチケットシステムは、以上説明したとおり、前記パソコンが、前記入退場テーブルの入／退場フラグ欄を参照して、「入」フラグの携帯情報端末の電話番号について、電話会社に対してイベント開催中だけ転送電話サービスの設定を行うように要求を送信するので、入場者が持つ携帯情報端末に対する着信がなくなるため、イベント中の迷惑を防止できるという効果を奏する。

【0159】この発明の請求項7に係るサイバーチケットシステムは、以上説明したとおり、前記パソコンが、前記入退場テーブルの入／退場フラグ欄を参照して、未入場を表すフラグの携帯情報端末の電話番号について、電話を掛けてイベント開催を知らせる音声案内を送信するので、予約しているユーザのうち、未入場者に対して、イベントの参加を促すことができるという効果を奏する。

【0160】この発明の請求項8に係るサイバーチケットシステムは、以上説明したとおり、前記パソコンが、前記入退場テーブルの入／退場フラグ欄を参照して、未入場を表すフラグの携帯情報端末の電話番号について、電話を掛けてキャンセル要求があるかどうかを確認し、キャンセルを確認した場合には、前記入退場テーブルの該当電話番号に対応する入／退場フラグ欄にキャンセルを表すフラグをセットし、前記イベントサーバへ該当電話番号に対応するイベントのサイバーチケットをキャンセルするためのキャンセル登録の要求を出し、前記イベ

ントサーバは、少なくとも前記携帯情報端末の電話番号、及び前記電話番号に対応したフラグから構成されている所定のイベントについてのイベント情報テーブルを有し、前記キャンセル要求に基いて前記イベント情報テーブルのフラグ欄にキャンセルを表すフラグをセットし、これに基いてキャンセルされたサイバーチケットを予約販売処理と同様に再販売処理を行うので、未入場者に対してキャンセルの有無を事前に確認でき、サイバーチケットを再販売できるという効果を奏する。

【0161】この発明の請求項9に係るサイバーチケットシステムは、以上説明したとおり、前記入退場テーブルに、入／退場時刻欄をさらに設け、前記パソコンは、前記入退場テーブルの入／退場時刻欄を参照して途中退場者を特定し、前記入退場テーブルの該当入／退場フラグ欄に途中退場を表すフラグをセットし、前記イベントサーバへ該当電話番号に対応するイベントのサイバーチケットの持主が途中退場した旨を通知し、前記イベントサーバは、少なくとも前記携帯情報端末の電話番号、及び前記電話番号に対応したフラグから構成されている所定のイベントについてのイベント情報テーブルを有し、前記通知に基いて前記イベント情報テーブルのフラグ欄に途中退場を表すフラグをセットし、これに基いて途中退場したサイバーチケットを予約販売処理と同様に再販売処理を行うので、イベント途中退場者のサイバーチケットを、格安に再販売できるという効果を奏する。

【0162】この発明の請求項10に係るサイバーチケットシステムは、以上説明したとおり、前記イベントサーバが、所定のイベント情報毎に少なくとも待ち順番、及び前記携帯情報端末の電話番号から構成されているキャンセル待ちリストを有し、キャンセル待ち登録時に、そのときに使用した携帯情報端末の電話番号を、前記キャンセル待ちリストの待ち順番順に登録し、前記イベント情報テーブルのキャンセル情報に基いて、キャンセルされたサイバーチケットを、前記キャンセル待ちリストの待ち順番の登録順に、予約販売処理と同様に再販売処理を行うので、キャンセル待ち登録後、キャンセルの発生により、サイバーチケットが入手できるという効果を奏する。

【0163】この発明の請求項11に係るサイバーチケットシステムは、以上説明したとおり、前記イベントサーバが、前記携帯情報端末からのグレード変更要求に基き、前記イベント情報についてグレードの異なるサイバーチケットの有無を調べ、グレードの異なるサイバーチケットが有る場合には、そのときに使用した携帯情報端末の電話番号を、前記グレードの異なるイベントとともに前記イベント情報として格納することによりグレードを変更するので、グレードアップ／ダウンした、サイバーチケットが入手できるという効果を奏する。

【0164】この発明の請求項12に係るサイバーチケットシステムは、以上説明したとおり、前記イベントサ

ーバが、1台の携帯情報端末を使用して複数のサイバーチケットを予約した場合において、前記携帯情報端末からの電話番号変更要求に基き、前記イベント情報の予約に使用した携帯情報端末の電話番号から他の携帯情報端末の任意の電話番号に変更するので、チケット枚数分のサイバーチケットの配布が携帯情報端末より簡易に行えるという効果を奏する。

【0165】この発明の請求項13に係るサイバーチケットシステムは、以上説明したとおり、前記イベントサーバが、1台の携帯情報端末を使用して1つのサイバーチケットを予約した場合において、前記携帯情報端末からの電話番号変更要求に基き、前記イベント情報の予約に使用した携帯情報端末の電話番号から他の携帯情報端末の任意の電話番号に変更するので、携帯情報端末を買い換えた場合に対応でき、他人にサイバーチケットを譲る事ができるという効果を奏する。

【0166】この発明の請求項14に係るサイバーチケットシステムは、以上説明したとおり、前記イベントサーバが、チケット代金を、前記携帯情報端末の料金とは別口座とし、電話料金と同様に引き落とすので、チケット代金を払い込むために代金払込所に赴く必要がなくなるという効果を奏する。

【0167】この発明の請求項15に係るサイバーチケットシステムは、以上説明したとおり、前記イベントサーバが、チケット代金を、携帯情報端末会社、イベント開催業者、チケット販売業者に、予め決めた割合で分配するので、各事業者毎に決めた、チケット代金取り分を配布できるという効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図1】 この発明の実施の形態1に係るサイバーチケットシステムの構成を示す図である。

【図2】 この発明の実施の形態1に係るサイバーチケットシステムの動作を表す画面遷移を示す図である。

【図3】 この発明の実施の形態2に係るサイバーチケットシステムの構成を示す図である。

【図4】 この発明の実施の形態4に係るサイバーチケットシステムの構成を示す図である。

【図5】 この発明の実施の形態5に係るサイバーチケットシステムの入退場テーブルの構成を示す図である。

【図6】 この発明の実施の形態7に係るサイバーチケットシステムの入退場テーブルの構成を示す図である。

【図7】 この発明の実施の形態8に係るサイバーチケットシステムのイベント情報テーブルの構成を示す図である。

【図8】 この発明の実施の形態10に係るサイバーチケットシステムのキャンセル待ちリストの構成を示す図である。

【図9】 従来のチケット予約販売システムの構成を示す図である。

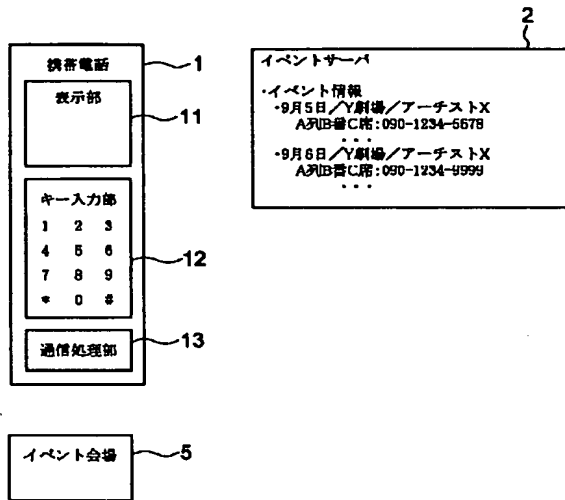
【図10】 従来のチケット予約販売システムの動作を

表す画面遷移を示す図である。

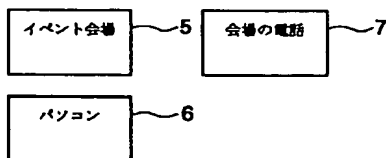
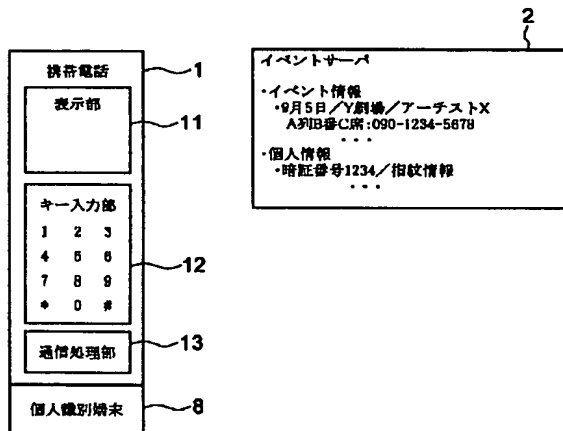
【符号の説明】

1 携帯電話、2 イベントサーバ、5 イベント会

【図1】

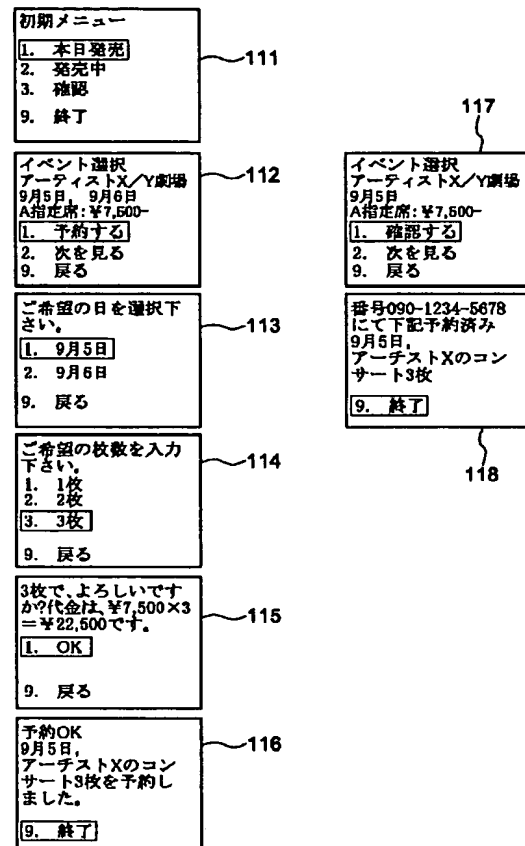


【図4】



場、6 パソコン、7 会場の電話、8 個人識別端末、  
11 表示部、12 キー入力部、13 通信処理部。

【図2】

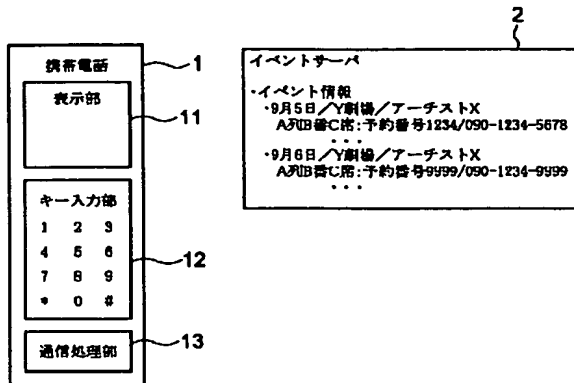


【図5】

予約番号	電話番号	入/退場フラグ	入/退場時刻
1111	090-1234-1111	退	10:20~11:30
1234	090-1234-5678	入	10:30・
...	...	...	...
9999	090-1234-9999	x	



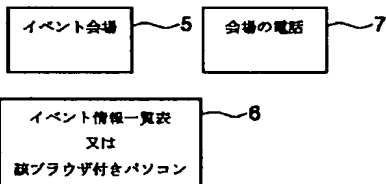
【図3】



【図6】

62

予約番号	電話番号	入/退場フラグ
1111	090-1234-1111	未
1234	090-1234-5678	入
...	...	...
9999	090-1234-9999	△



【図8】

22

キャンセル情報:9月5日/Y劇場/アーティストX	
待ち順番	電話番号
1	090-1234-1111
2	090-1234-5678
...	...
9999	

【図7】

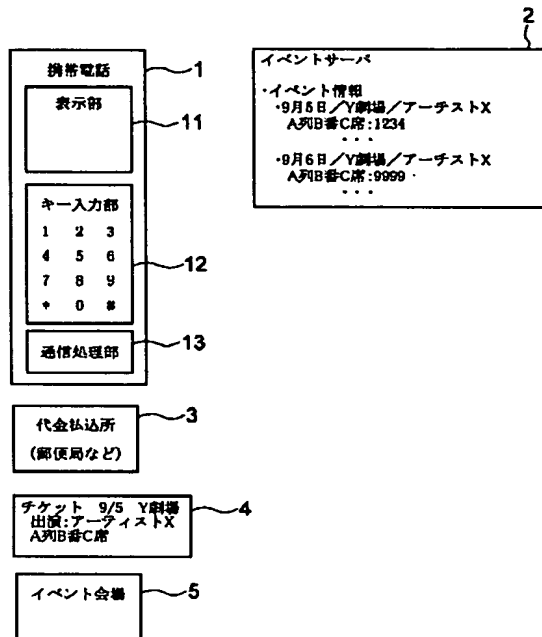
21

イベント情報:9月5日/Y劇場/アーティストX			
予約番号	電話番号	席番号	キャンセル
1111	090-1234-1111	A列B番A席	
1234	090-1234-5678	A列B番C席	×
...	...	...	...
9999	090-1234-9999	X列Y番Z席	△

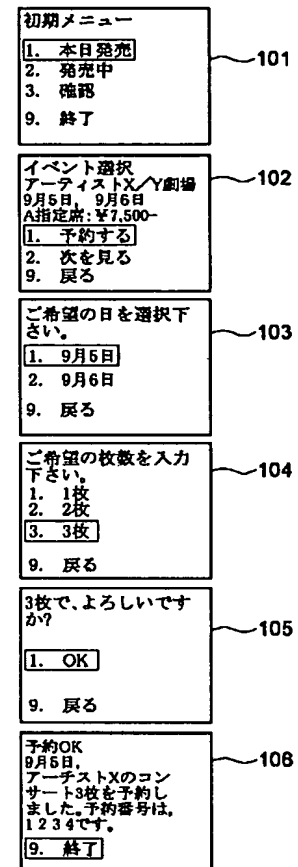
23

キャンセル情報:9月5日/Y劇場/アーティストX /席のグレードA	
待ち順番	電話番号
1	090-1234-1111
2	090-1234-5678
...	...
9999	

【図9】



【図10】



フロントページの続き

Fターム(参考) 5B049 BB61 CC06 CC14 CC16 CC36  
 DD01 EE05 FF04 GG02 GG03  
 GG06  
 5B055 HB02  
 5K024 AA75 CC11 DD01 EE06 FF03  
 GG01 GG05 GG08  
 5K101 KK17 LL05 LL12 MM07 NN03  
 NN18 NN21 NN34 NN48 PP03  
 SS07 TT06 UU16